

第五十五期天理教学生会活動方針

ありがとう」の心を胸に、ご恩報じの姿で通ろう！

一、生かされていることに感謝しよう

○ かしもの・かりもの」の教理を学ぼう

○ おつとめ、ひのきしんの実践

一、お道の素晴らしさを伝えよう

○ 仲間へ声をかけ、心をつなげよう

一、進んで教会につながるよう

○ 道の学生教会につながるDAYの推進

○ 青年会・婦人会につながるよう

ありがとう」の心を胸に、ご恩報じの姿で通ろう！

私たちが日々活動できるのは、親神様の絶え間ないご守護があり、教祖のお教えがあるからです。また、全国にいる仲間の存在や、教会につながる沢山の方々のお陰であることを忘れてはいけません。その存在に「ありがとう」の心を大切にし、ご恩報じの姿で通らせていただきました。その為に道の学生成人目標を日々実践していきましょう。成人目標を実践することで、親神様のご守護に対して「ありがとう」の心が育まれます。そして、その心を仲間へ伝えることでつながりが深まり、一手一つに成人していくことができます。その姿こそ親神様のお喜びくださるご恩報じの姿です。また、立教百八十二年春の学生おぢばがえり」の式典において真柱様は、教会の人にあいさつを交わしたり、自分にできるひのきしんをする機会をつくり、教会を身近な存在にしてほしい。」とお話し下されました。学生会活動を通して少しでもお道の魅力にふれ、仲間と共に教会に足を運びましょう。そして、五十五期を通る仲間と共に陽気ぐらしを目指して、次代を担うようぼくへと成人していきましょう。

一、生かされていることに感謝しよう

教祖の教えを学び親神様のご守護に「ありがとう」の心を育み、お礼申し上げましょう。そして、その心を姿で現すことや仲間へ言葉で伝えることで親神様に喜んでいただきますように。

○ かしもの・かりもの」の教理を学ぼう

この教えを学ぶことで、生かされていることや、身の回りにあるものは親神様からお与え下さっているものであると気づき、「ありがとう」の心を育むことができます。学ぶ方法としては、教理勉強、談じ合い、先生からのご講話など様々あります。それぞれの現状に合わせて学ぶ方法を考え、心に治め、親神様がお喜びくださる心の遣い方を実践しましょう。

○ おつとめ、ひのきしんの実践

毎日を元気に過ごしていることや、学生会活動ができることに、おつとめでお礼を申し上げます。またその心をひのきしんで表しましょう。仲間と共におつとめ、ひのきしんをすることで共に成人させていただきました。

一、お道の素晴らしさを伝えよう

身近な仲間へ学生会へつながるよう声かけを行っていくと同時に、自分の心を入れ替え、その姿を通してお道を伝えていく事が大切です。周りには自分にしかたすけることのできない仲間がいるはず。まずは、一人でも多くの仲間へ学生会につながってもらえるよう、各学生会の活動一つひとつ、また全国の仲間と共に開催する行事への声かけを行っていきましょう。

○ 仲間へ声をかけ、心をつなげよう

日々の声かけや姿を通して、仲間へ心をつなげましょう。そして、春の学生おぢばがえりに一人でも多くの仲間と共におぢばに集いましょう。おぢばは親神様、教祖が私たちの帰りを心待ちにして下さっています。また、人のたすかりを願う場所だからこそ、お道の魅力に沢山ふれることができます。仲間へお道につながる一歩として挨拶や心配りなど小さなことから実践していきましょう。

一、進んで教会につながるよう

教会とはたすけの道場と呼ばれ、教会を通しておぢばへたすけを願う場所です。教会につながるということは、親神様、教祖にお会いして心をつなぐことができ、またお道につながる仲間とのつながりを深めることもできます。これからもお道につながるきっかけを学生会の仲間と共に作っていきましょう。

○ 道の学生教会につながるDAYの推進

進んで教会につながることを実践する上から、道の学生教会につながるDAYを推進します。私たちには必ず所属する教会があり、国々所々には教会があります。教会に参拝し、教会の方々とのつながることで学生から教会を賑やかにしていきましょう。

○ 青年会・婦人会につながるよう

私たちは青年会員、婦人会員でもあります。天理教青年会が創立百周年に向かって大きく歩みを進め、女子青年大会も来年開催される人材育成のこの旬に、「創立百周年記念第九十四回天理教青年会総会」第二十九回女子青年大会」に一人でも多くの仲間へ声をかけ、参加しましょう。学生を終えてからもお道にしっかりとつながり、次代を担うようぼくに成人していけるよう、今できる一歩として青年会、婦人会にもつながっていきましょう。